

10月13日スコットランド戦に勝利しベスト8進出が決定した瞬間



久留米出身の流選手が大活躍 ラグビーW杯 パブリックビューイング

9月28日、10月13日、20日 久留米シティプラザ六角堂広場でラグビーワールドカップ日本戦を放映しました。毎回、会場には鉢巻きやユニフォーム姿のファンが殺到。周辺のコンビニではビールが売り切れるなど、大いに盛り上がりました。くるめふるさと大使の流大選手は、全試合スタメン出場を果たし、日本チームの躍進に貢献。友人と観戦に来た大津留祥光さん（六ツ門町）は「このままラグビーブームが根付いてくれたらうれしいです」と話してくれました。

久留米市美術館

とき・ひと・美
をむすぶ

KURUME CITY ART MUSEUM
ISHIBASHI CULTURAL CENTER

市美術館のイベントや所蔵作品を紹介します。



熊谷守一《鬼百合に揚羽蝶》1959年
東京国立近代美術館

動き出す“いのち”

熊谷守一が描く生き物たちは、今にも動き出しそうに見えます。それは、計算された構図や色彩によるものもありますが、何より一瞬の動作を捉えた観察力がその根底にあります。時として実寸以上の大きさで描かれた生き物の姿は、小さな命を見つめる守一との距離の近さを物語っています。

オニユリの周りにひらりと舞うアゲハチョウを描いた「鬼百合に揚羽蝶」。筆跡を横方向に統一したフラットな青地の上に、補色に近い赤色の花が真っ先に私たちの目に飛び込んできます。その形は、特徴的なオニユリの姿を極限まで簡潔に再構成しながら、まるで生き物のような躍動感も備えています。一方のアゲハチョウは堂々と羽を広げており、今まさにオニユリの花で羽を休めようとする瞬間をカメラで切り取ったかのようです。

命の源泉だけを抽出したかのように描き出された生き物たちの姿をぜひ会場でお楽しみください。

【学芸員：森智志】

市美術館

☎0942・39・1131、FAX 0942・39・3134

熊谷守一
Kumagai
Shigeaki

Cherishing
All Lives
いのちを
見つめて

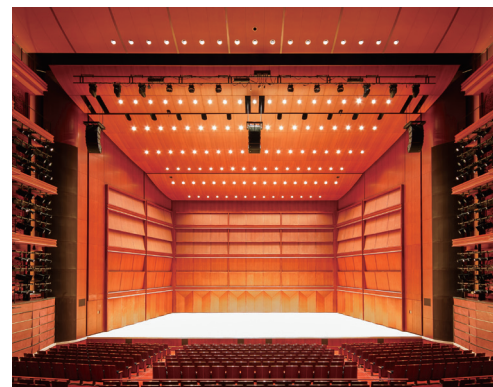
11月16日④から
来年1月13日④まで

久留米シティプラザ

子どもたちと、まちと、
文化の明日を元気にする

Kurume City Plaza

シティプラザのイベントや舞台裏を紹介します。



舞台の正面、左右、上部すべてを巨大な板で覆うことで、音を反射して美しい音色をつくりだす
(撮影：大竹央祐)

ザ・グランドホールの音響反射板

クラシックコンサートなどで見かける、舞台の巨大な板。音響反射板という、生の演奏を行う時に使用する装置です。反響板ともいいます。

シティプラザの反響板は、良質な音を生むために重厚な造りで、総重量が約100tにもなります。通常は太さ2cm、44本のワイヤーで天井からつり下がっています。舞台に設置するときには、6人が声を掛け合いながら約1時間もかかります。構成を変えることで大編成のオーケストラにも、小編成の室内楽にも対応が可能。プロのサクソカルテット・Quatuor Bが来久した時には、「音が目に見えるような残響感、日本各地のホールとも違うオリジナリティーがある」という高評価をもらいました。

この久留米ならではの響きを、多くの人に聴いてもらおうと、3歳からの「はじまりの音楽会」を来年1月に開催します。詳細はシティプラザホームページに掲載しています。

市久留米シティプラザ

☎0942・36・3000、FAX 0942・36・3087

文化交流の一翼を担う Kurume Jaks Day

10月12日久留米シティプラザで、各国の音楽やステージイベント、自慢の料理を楽しむ「Kurume Jaks Day」が開催されました。久留米大学留学生会のブースで、チヤミと空揚げを販売していたリュ・モンユーさんは「昨年9月に中国から来て一番感動したことは、久留米のまちの美しさです。毎日大学の友人とランチをしながら、おしゃべりをするのが楽しいです」と話してくれました。



上手な日本語で接客をこなすリュさん(右)

市政の動き

事故防止の実験へ

久留米市とダイハツ工業は、交通事故の防止に向け「後付け安全運転支援装置」を使った実証実験を開始。交通安全指導員の車や校区の青パトに、ペダルの踏み間違いによる重大事故を防ぐための装置や衝突警報装置を取り付けます。利用者へのアンケートで有効性や安心感などを検証します。
安全安心推進課 ☎0942・30・9094、FAX 0942・30・9706



10月14日のセルフコミュニケーションフェスタで大久保勉市長も試乗

市ホームページ
安全安心推進
詳しくは
QRコード

郡山の復旧を支援

台風19号で被災した姉妹都市・福島県郡山市を支援するため、久留米市は義援金の受け入れを開始しました。募金箱は、本庁舎1階総合案内、各総合支所、各市民センター、久留米シティプラザなど17カ所に設置しています。金融機関への口座振込もできます。期間は来年3月31日(火)まで。
総務課 ☎0942・30・9052、FAX 0942・30・9706

市ホームページ
災害義援金の募
詳しくは
QRコード



本庁舎の総合案内カウンターに設置された募金箱